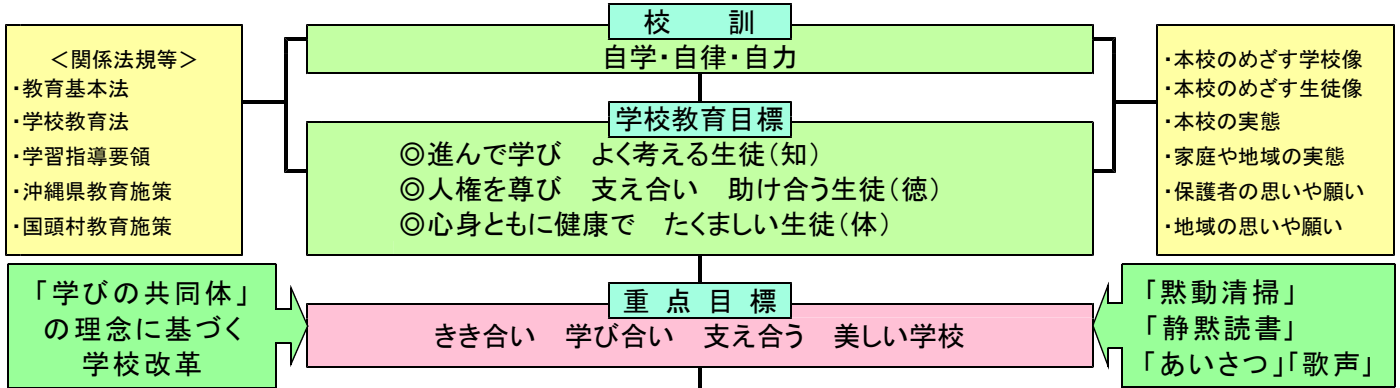


平成25年度 国頭中学校 教育課程編成全体構想



学習指導要領の趣旨及び目標・内容

教育課程編成	
①教育の理念としての「生きる力」を重視(継承)し、知識・技能の習得とこれらを活用する能力の育成のバランスを重視した教育課程	
②「目標の達成」(教育基本法「教育の目標」、学校教育法「義務教育の目標」、中学校教育の目標)を重視した教育課程	
③道徳の時間を「要」として位置付け、体験活動との関連を重視した教育課程	
④体育・健康に関する指導について、「食育」と「安全指導」を追記した教育課程	
編成方針	①諸法令、学習指導要領及び地域・学校・生徒の実態を踏まえ、人間として調和の取れた生徒の育成を目指して編成する。 ②授業が横断的(系統的)・効果的に実施できるように、各教科等や学校行事等相互の関連を考慮して、年間指導計画を編成する。 ③通常の教育活動の評価や学校評価の結果について、成果と課題を検証・分析し、必要な改善策を踏まえて編成する。
配慮事項	①週時程の工夫 ②授業時数の管理、点検・評価 ③時数増に伴う指導の工夫 ④言語活動の充実 ⑤言語環境の整備 ⑥問題解決的な学習の充実 ⑦体験的な学習及び体験活動の充実 ⑧生徒一人ひとりの実態に応じた指導と評価の充実 ⑨特別な支援を要する生徒の指導の充実 ⑩教育活動全体で推進する道徳教育の充実 ⑪キャリア教育の充実 ⑫伝統や文化についての指導の充実 ⑬学級経営の充実 ⑭部活動の意義を踏まえた適正な活動

教育課程編成の具体方針

学習指導	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
①学校教育法施行規則第73条の別表2により、授業時数を配当する。	①全体計画と別業の作成 ②学校教育全般に渡る道徳性の育成 ③道徳の時間を「要」とした補充・深化・統合と交流(波及)の相互作用 ④道徳教育推進教師を中心とした指導体制の確立 ⑤道徳性を育成する体験活動の充実 ⑥学校教育目標「人権を尊び…」を意識した実践 ⑦毎週1単位、年間35時間を配当 ⑧重点指導内容:「生命尊重」と「思いやり」 ⑨指導方針 ・全教師の共通理解の下、全校体制で推進 ・「国中人権宣言」に基づいた道徳教育の推進 ・校訓「自学・自律・自力」に関連付けた効果的な道徳教育 ・地域教育資源の活用 ・「心のノート」等の活用 ・美しくきれいな学校づくり	①学習指導要領の目標及び内容に従 ②毎週1単位時間、年間35時間の学級活動を設定 ③学校行事の精選 ④期待感・達成感が味わえるような学校行事の工夫・改善 ⑤生徒と教師、生徒同士の人間関係を育成する学校行事や生徒会活動 ⑥自発的・自治的能力を高める生徒会活動 ⑦学校行事 ・儀式的行事:新任式、始業式、入学式、終業式、卒業式、修了式、離任式 ・文化的行事:音楽発表会 ・健康安全・体育的行事:身体測定、各種検診、交通安全指導、各種避難訓練、運動会、校内駅伝 ・旅行・集団宿泊の行事:宿泊体験(1年)、職場体験(2年)、修学旅行(3年) ・勤労生産・奉仕的行事:大清掃 ⑧生徒会活動:新入生歓迎球技大会、生徒総会、選手激励会、生徒会役員選挙、3年生を送る会 ⑨異学年交流(縦割り班活動)の推進	①年間授業時数は、1年:50時間、2・3年:70時間を配当 ②全職員体制により、学校テーマのもと、系統的な学習を展開する。 ③「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)」(H22年11月、文部科学省)を活用して、年間指導計画を作成する。 ④地域教育資源(施設・設備・学習素材・地域人材等)を活用して、探求的な学習を意図的・計画的に取り入れる。
()の数字は、週当たりの授業時間 ②基礎的・基本的な知識・技能の習得 ③思考力・判断力・表現力等の育成 ④主体的に学習に取り組む態度の育成 ⑤学習を支える力(学習規律)の育成 ⑥指導方法の工夫改善(すべての生徒の学びの保証)「校内研修全体構想」 ⑦ICT機器や教材・教員の活用 ⑧諸学力調査結果の課題への対応 ⑨キャリア教育の4能力との関連 ⑩図書館活用と読書活動の充実 ⑪観点別評価規準の設定 ⑫環境・平和・情報・図書館活用との関連			その他 ①国際理解教育・外国語教育 ②情報教育 ③環境教育 ④福祉・ボランティア教育 ⑤平和教育 ⑥人権教育 ⑦危機管理 ⑧生徒指導 ⑨特別支援教育 ⑩健康・食の教育 ⑪キャリア教育 ⑫図書館教育 ⑬小・中連携教育 ⑭教職員の服務・規律 ⑮各種委員会(学校評議員、家庭教育を支援する会、特別支援教育委員会、適正就学指導委員会、学校保健委員会)

年間指導計画作成時の配慮事項

- ①学習指導要領に則り、沖縄県や国頭村の教育施策を踏まえて作成する。
- ②計画的・効果的な地域教育資源の活用を年間指導計画に位置付ける。
- ③全国学習状況調査や果到速度調査の結果を分析・考察し、各教科の年間指導計画及び授業改善に生かすとともに、国語・数学の形成確認問題を年間指導計画に位置付け、計画的に形成的評価として活用する。
- ④各教科等の指導に当たっては、ICT機器の活用を意図的に計画するとともに、ICT活用の「光」と「陰」についての指導を強化する。
- ⑤主体的・意欲的な学習態度を育成するために、積極的に学校図書館を活用できるような年間指導計画に位置付ける。

指導計画の作成

- ①学力向上推進 ②校内研修計画 ③視聴覚教育 ④情報教育 ⑤図書館教育 ⑥人権教育 ⑦環境教育 ⑧生徒指導全体計画 ⑨教育相談全体計画 ⑩学校保健 ⑪学校給食 ⑫学校安全指導計画 ⑬特別支援教育 ⑭防災計画 ⑮部活動 ⑯特別活動(学級活動、進路指導、生徒会活動) ⑰道徳教育(別冊) ⑱各教科の年間指導計画(別冊) ⑲総合的な学習の時間(別冊) ※①～⑯はファイリング